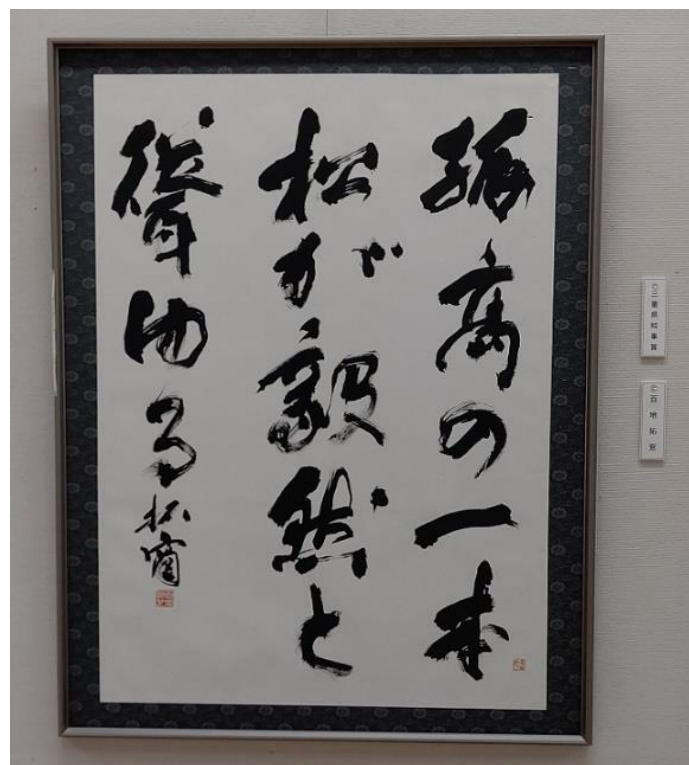


第 69 回三重県書道連盟展

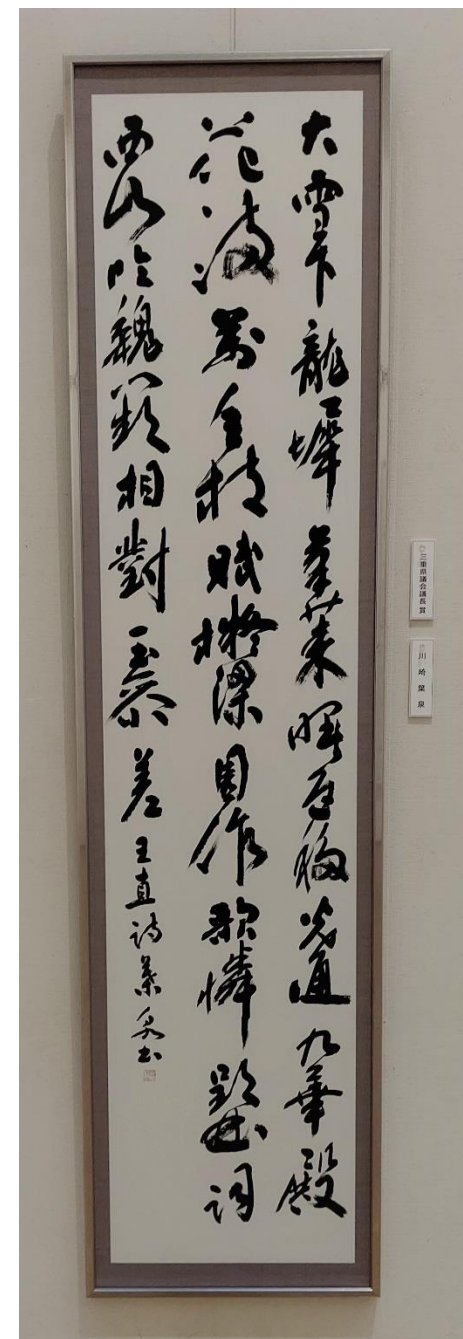
《会員・公募》三賞



知事賞・百地拓窓(調和体)



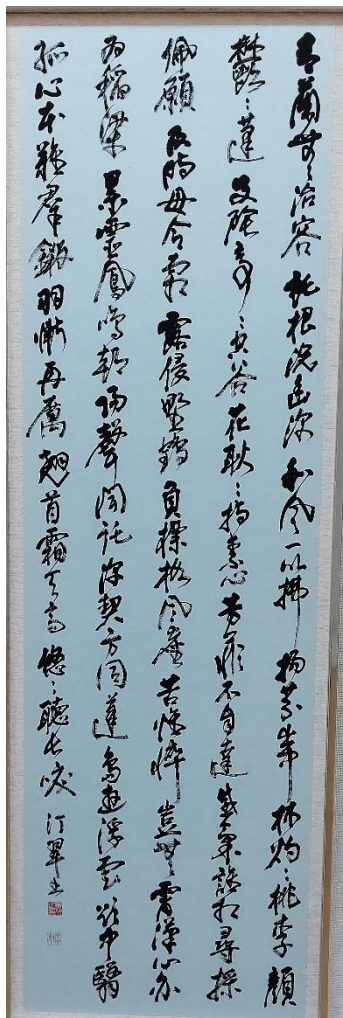
三重県教育委員会賞・青木碩山(篆刻)



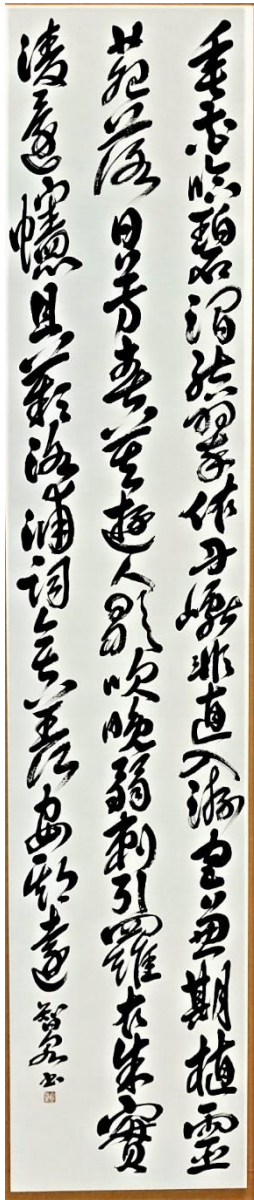
三重県県議会議長賞・川崎葉泉(漢字)

《無鑑查》

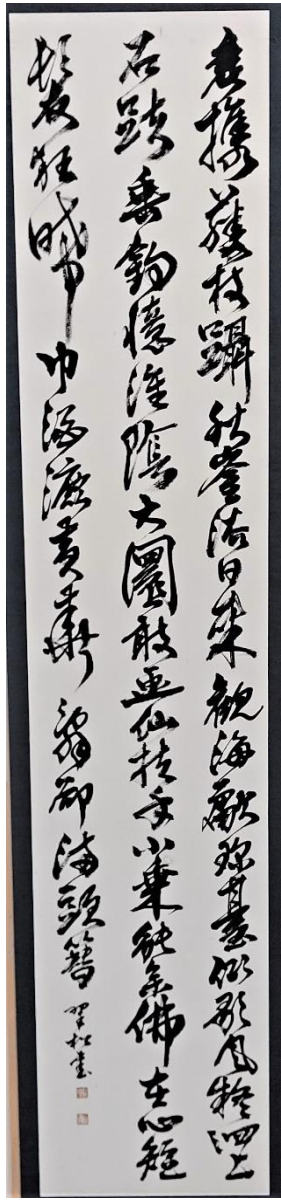
特別賞



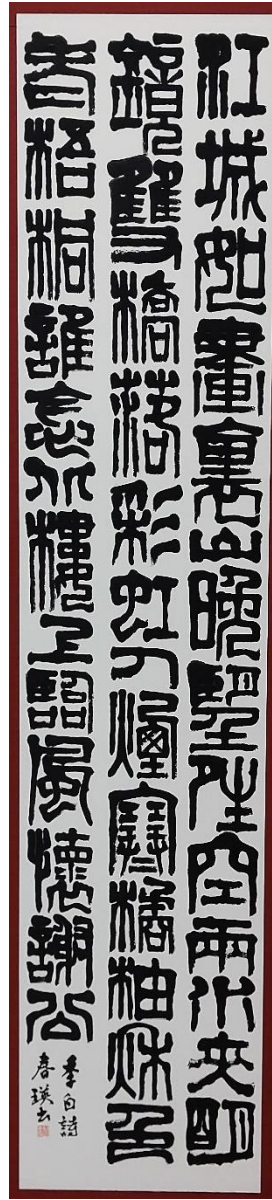
森 汀翠



古芝智泉



辻 翠松



神田春瑛



米川慧玉

冰簟胡床共一頭，
 相看織月映澄流。
 更深不覺搖舟去，
 空見隨風過柳洲。
 風雨夜深聞柝聲，
 孤舟無處泊行蹤。
 子規啼夜不成眠，
 一夜思量一箇人。
 新秋謝郎今夕思，
 五更獨夢金波轉。
 蘇軾詩
 蘇軾書

市岡敬華

風雨晴江一水清，
 遠山如畫晚鐘鳴。
 停雲澗水及溪邊，
 殘日孤舟自滿江。
 蘇軾詩
 蘇軾書

山路節麗

千帆浪湧拂晴波，
 遠浦孤舟日暮多。
 宿鳥歸林人未歸，
 一江煙霧晚鐘敲。
 漁父漁歌好，
 漁舟漁火白如雪。
 蘇軾詩
 蘇軾書

今村壽鴻

白鹿昔年春，
 鹿之誰復來。
 蒼山暮雨，
 酒中雲自開。
 酒香香，
 酒色紅，
 酒氣清。
 酒中雲自開，
 酒香香，
 酒色紅，
 酒氣清。
 蘇軾詩
 蘇軾書

柴田桂苑

憶在常鄭久，
 常鄭久，
 常鄭久，
 常鄭久。
 蘇軾詩
 蘇軾書

野々村紫芳

言ノ葉は月のしづくの恋文哀しきは泡沫の夢幻白艷は
 愛をさやく吐息戦哭う声は蝉時雨の風時間の果て冷め
 ゆく夢の温度過ぎし儚き思いを照らすゆく逢いたと思
 う気持ちはそっと今願いにならぬ哀しきは月のしづくが今もまた
 濡らしてゆく下弦の月が浮かぶ鏡のような水面 佳風書

福本佳風

夕暮の海の上舞踏の美しさ太陽は雲に隠れる
 風は朗らかな大空から吹き流す波は勢よく湧
 き返つてゐる帆を張つて小舟が遠近に走つてゐる 壽鈴書

水谷壽鈴

わが花婿は紅の顔はせいと麗しく眼は光り輝き明日の
 星にまがふぬりわが花嫁は白き衣をまとうちまは
 黄菊の花を飾りたり翼並ぶる鴛鴦も雄鳥の羽は勝
 ることづれか戻る世の中に例へ稀れなる二人 市川峰蘭書

市川峰蘭

遠い地平線が消えて深々とした夜の闇
 に心を休めら時遥かな雲海の上を音もなく
 流れ去る気流は限りない宇宙の営み 渡部書

渡部澗川

やがて来し春の秋の夜人泣きの春の夢にちやもどく六歳の後に昔の
 夢を送りて夜長の袖を縫うてくには今宵の秋を思ふ中に忘らぬ思
 夜の涙からべへ夢の中家を夢の梅はぐりての後の夜は思はず入道
 和國の花人の夢をいふ今宵の夢を一夜の夢に集めて 鈴村宏鴛書

鈴村宏鴛